

鉄道ピクトリアル

2022年3月号 Vol.72 No.3 通巻No.996

〈特集〉「DISCOVER JAPAN」の時代

- 表 紙 山峠の朝 会津西方駅.....岸 幸男
1971-11

■ グラフ

DISCOVER JAPAN の時代—1970年代前～中期の国鉄シーンから—
(1～5ページ)

-千田正哉・伊藤義郎・米山淳一・星 晃
.....浜村正弘・沢柳健一・千葉恵一・関根敏男
ワッペン列車のワッペンコレクション（6～7ページ）.....所蔵：大矢 中
国鉄周遊券の表紙デザイン（8ページ）.....所蔵：長谷川優一
*

ディスカバー・ジャパンの頃—懐かしき国鉄70's—

- | | | |
|---------------------|-----------------|----|
| | 写真：齊藤光男・有原和彦ほか… | 32 |
| ディスカバー・ジャパンの駅 | 写真と文：永井修二… | 38 |
| 運転開始当時のワッペン列車 | 太田 正行… | 40 |
| 子どもごころに突き刺さった「ポンパ号」 | 岸上 明彦… | 42 |

Pictorial Color Gallery DE10が走る里 千葉 恵一 85

- | | |
|---|--------------|
| [JR北海道キヤ291形 / JR北海道「SL冬の湿原号」客車リ
ニューアル第一弾登場 / 東武鉄道C11 123 火入れ式を挙
行 / JR九州 西九州新幹線「かもめ」用N700Sが完成ほか] | 88~90
104 |
| JR九州 西九州新幹線 武雄温泉—長崎間の工事現況…原 敬一…91
トピック・フォト(各地・関東・中部・関西) ………………92 | |
| 開業100周年を迎えたJR東日本相模線 回想 ………………大里 信之…100
ペンシルベニアの保存蒸気鉄道 ………………宮川 浩明…102 | |
| 連載・昭和の鉄景(第63回) ………………椎橋 俊之…128 | |

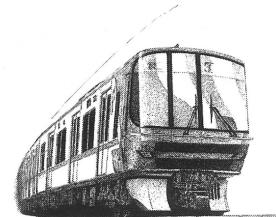
■ 本文

- | | | |
|---------------------------|-------|----|
| 今月の話題:「DISCOVER JAPAN」の時代 | 編集部 | 9 |
| DISCOVER JAPANの時代 | | |
| —昭和40年代半ばの鉄道輸送と国鉄のキャンペーン— | 山田亮 | 10 |
| 国鉄の循環急行あれこれ① | 三宅俊彦 | 23 |
| 1970年代 東京の鉄道ターミナル撮影紀行 | 隅田衷 | 44 |
| いい旅チャレンジ20,000kmにさきがけて | 田沼建治 | 58 |
| 周遊券のいろいろと鉄道旅の文化 | 長谷川優一 | 64 |

鉄道の話題 編集部 31

- | | | |
|---|-------|-----|
| 京急「マリンパーク号」の思い出 | 佐藤 良介 | 77 |
| 書評(684)『日本蒸気機関車史』 | 三木 理史 | 105 |
| 鉄道技術との60年 ¹⁵ —福知山線事故と8年間のJR西日本社外取締役の体験 | 曾根 悟 | 106 |
| JR西日本DEC741総合検測車 | 岩崎 正憲 | 110 |
| 私鉄のキハ20系概観〔中編〕 | 服部 朗宏 | 116 |
| JRグループ2022年3月12日ダイヤ改正の概要 | 編集部 | 125 |
| 12月のメモ帳 | | 129 |
| 読者短信・情報ファイル | | 130 |
| 後部車から | | 133 |

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

「DISCOVER JAPAN」の時代

鉄道の需要促進キャンペーンは多岐にわたる。私鉄では路線そのものが観光・行楽輸送を主な目的として設定された鉄道も多く、開業時からさまざまなキャンペーンを展開して旅客誘致を図った。国鉄も1925(大正14)年に遊覧券制度を設け、その後、北海道や九州遊覧券を発売し観光客の需要を創成した。戦時中の廃止期間を経て、輸送の復興を成しつつあった1955(昭和30)年には117カ所の指定地を設定し周遊券制度を復活、さらに1956年の北海道を皮切りに均一周遊券の発売を開始し、鉄道の観光輸送に取り組んだ。1970年に開催された大阪万博では、国鉄は全国各地から観客の大輸送を行ったが、落ち込みが予想された万博終了後の鉄道需要維持を目指し、国鉄としてかつてない利用促進キャンペーンを展開することとなり、このテーマが「DISCOVER JAPAN」である。

大阪万博が終了した1970年秋以降、国鉄は「DISCOVER JAPAN」のキャンペーンを大々的に展開していく。テレビでは多彩なCMあるいは「遠くへ行きたい」といった番組を放映し人気を博し、鉄道旅の魅力をかき立てた。駅貼り、車内の宙づり広告は「DISCOVER JAPAN」で埋め尽くされ、駅スタンプを充実させムードを盛り上げた。均一周遊券もミニ版が発売された。折からSLブームも重なり、一般旅行者はもとより鉄道趣味の拡大もこのキャンペーンに誘発されていったと言っても過言ではない。「DISCOVER JAPAN」に始まるキャンペーンは、その後「一枚のキップから」「いい日旅立ち」などさまざまなかたちで継続され、鉄道旅の意欲増進に寄与し続けた。それはJR発足後も引き継がれ、また大手民鉄やローカル鉄道の旅客誘致の政策にも大きな影響を与えた。現在に連なっているといえよう。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan